



私学教職員のワーク・ライフ・バランス

日時・会場	【大阪】 大阪ガーデンパレス 2019年9月6日(金) 13:00 ~ 16:15	【東京】 東京ガーデンパレス 2019年9月13日(金) 13:00 ~ 16:15
	講師 周東 正紀 氏〔学校法人実践女子学園 総務部長〕 麻生 享志 氏〔学校法人早稲田大学 理事(国際広報・ダイバーシティ推進担当)/同大学国際学院 教授〕	

(会場は、大阪・東京いずれかご都合のよい方をお選び下さい。)

本セミナーの概要

労働人口の減少に伴う人手不足や個人の価値観の多様化が進む昨今、ワーク・ライフ・バランスの推進は産業界において重要な経営課題の一つとして注目されております。厳しい経営を強いられる私学にとっても、生産性の向上や長時間労働の是正は、組織力強化や教職員のモチベーション維持に欠くことのできない要素として、早急に取り組むべき課題であるといえます。

そこで本セミナーでは、周東・麻生両講師よりこれからの私学教職員のワーク・ライフ・バランスのあり方についての具体的な取り組みをご紹介します。

私学理事者をはじめ管理職の皆様の多数ご参加をお待ち申し上げます。

申込要領

申込方法 本会ホームページ(<http://sikeiken.or.jp/>)の「セミナー申込フォーム」からお申込みいただくか、Eメールに必要事項(参加日、学園名、住所、参加者の役職、氏名)をご記入のうえ、お申込み下さい。
申込書に記載された学園名、ご住所、役職名、ご氏名等の個人情報は、参加証・請求書・領収書等の発送のために使用します。

参加料 本会の会員は、大阪・東京いずれかご1名様のみ無料です。ただし、追加ご1名様の参加料は5,400円です(消費税込)。なお、追加参加料は、請求書をご確認の上、銀行振込でセミナー開催日前までにお納め下さい。

主催 公益社団法人 私学経営研究会 事務局
533-0033 大阪市東淀川区東中島1丁目21番33号 俵ビル3階
TEL. 06-6321-2666 / FAX. 06-6321-3207
E-mail: skkseminar@sikeiken.or.jp

大阪会場 大阪ガーデンパレス
大阪市淀川区西宮原1-3-35
TEL. 06-6396-6211

東京会場 東京ガーデンパレス
東京都文京区湯島1-7-5
TEL. 03-3813-6211

大阪会場



東京会場



13:00 ~ 14:30

実践女子学園の男女共同参画推進と働き方改革の取り組みと課題

講師 周東 正紀 氏

- | | |
|---|---|
| 1. 男女共同参画推進の取り組み | 3. 現状の課題 |
| 2. 教職員の多様な働き方を実現する制度と計画
(1) フレキシブルワーク制度
(2) 専任教育職員の業務軽減に関する制度 | 4. 課題解決に向けて ~働き方改革とは~
5. その他人事上の取り組み |

14:45 ~ 16:15

私学教職員のワークライフバランス

講師 麻生 享志 氏

- | | |
|---|--|
| 1. ワークライフバランス（仕事と生活の調和）のあり方 | 4. 大学教員のワークライフバランス推進
・目指すべき方向性と課題
・具体的な取り組みとその成果 |
| 2. 早稲田大学におけるダイバーシティ推進
・目指すべき方向性と課題
・具体的な取り組みとその成果 | 5. ワークライフバランス（調和のとれた生き方）の実現に向けて |
| 3. 大学職員のワークライフバランス推進
・目指すべき方向性と課題
・具体的な取り組みとその成果 | |

講師紹介

すとう まさのり
周東 正紀 氏

〔学校法人実践女子学園
総務部長〕

1967年生まれ。1991年早稲田大学政治経済学部政治学科卒業。
1991年株式会社リクルート入社。経営企画部、住宅情報事業部、進学情報事業部、HR事業部等を経て、2013年学校法人実践女子学園入職。2019年現在、総務部長に加え、企画広報部長、地域連携推進担当部長、入試広報担当部長を兼務。

あそう たかし
麻生 享志 氏

〔学校法人早稲田大学 理事
(国際広報・ダイバーシティ推進担当)
同大学国際学術院 教授〕

1989年3月慶應義塾大学文学部文学科英米文学専攻卒業。1991年3月同大学院文学研究科文学科英米文学専攻修士課程修了。1995年2月ニューヨーク州立大学バッファロー校比較文学研究科修士課程修了。1996年同大学院比較文学研究科博士課程修了、Ph.D.(比較文学)取得。杏林大学専任講師、同助教授、早稲田大学政治経済学部助教授等を経て、2006年早稲田大学国際教養学術院(現国際学術院)教授就任、現在に至る。

2013年同国際コミュニケーション研究科長等を歴任、2018年11月より理事に就任、現在に至る。